

構造工学コースの学修到達目標

- a. 多面的な基礎科学と技術者倫理を修得している。
- b. 自然現象の数学的表現能力と解析技術を修得している。
- c. 構造工学に関する知識を身につけている。
- d. 自主的学修能力と問題解決能力を修得している。
- e. コミュニケーション能力を修得している。
- f. デザイン能力とマネジメント能力を修得している。

構造工学コースのカリキュラム・ポリシー

- ・ 入門科目で、構造工学に関する数学や力学、およびコンピュータを用いた解析技術の基礎を、講義や演習によって学びます。
- ・ 専門基礎科目で、計画・製図、各種力学など構造工学についての基礎を講義や実験、演習によって学びます。
- ・ 専門科目で、構造物に関する各種設計法を講義や実験、演習によって学びます。
- ・ 発展科目は、構造物に関する専門的知識を応用する能力を伸ばし、各種材料や施工法、および設計時に照査すべき重要事項を講義や演習によって学びます。
- ・ 卒業研究を行なうことで、世界的に最先端の研究を体験・修得し、課題解決能力・課題探求能力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を伸ばします。
- ・ 授業の成績評価は、定期試験の結果、レポート、課題、ディスカッション、プレゼンテーションの成果、授業・ゼミナールへ取り組む意欲・態度などの観点から行います。卒業研究の評価は、全教員による J A B E E 学修・教育到達目標の達成度評価などで行います。評価の結果、学修成果が一定の水準に達したと担当教員が認めた場合に単位が認定されます。

科目に関する別表（構造工学コース）

科目等 資質等	入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展科目	卒業研究 関連科目
教養および 科学技術の 評価能力	構造工学入門 基礎実験 情報科学概論		工学倫理 安全工学	生命科学 基礎化学 経営管理 産業経済学	卒業研究
構造工学の 基礎知識 (数学, 物理学)	微分積分学 I, II, III 線形代数 I 基礎物理 A	応用数学 A, C		基礎物理 B, C	
構造工学の 基礎知識 (力学)		構造力学 I, II 構造力学演習 I, II	シミュレーション工 学 計算力学 計算力学演習		
構造工学の 基礎知識 (計画, 製図)		CAD 演習 建築製図 I, II	建築計画基礎	建築製図 III 建築設計製図 A, B 建築計画 A, B 建築環境工学 建築設計論 建築法規 建築史	
構造工学の 専門知識 (力学)		材料力学 材料力学演習 構造振動学 I 構造振動学 II	平面及び曲面構造論 構造物安定論	流体工学	
構造工学の 専門知識 (設計法)				鋼構造設計法 I 鋼構造設計法 II RC 構造設計法 I RC 構造設計法 II 構造塑性設計法 基礎構造設計法 設備工学 海洋構造工学概論 航空宇宙工学概論	
構造工学の 専門知識 (材料, 施工法)		構造工学実験	コンクリート工学 構造材料学	環境地質学 維持管理工学 建築施工	
英語による コミュニケー ション能 力		技術英語 I	技術英語 II	技術英語 III 国際インターンシップ グローバルセミナー A, B グローバルコミュニケー ション演習 A, B	
デザイン能 力, プレゼ ンテーショ ン能力		エンジニアリング デザイン入門	エンジニアリングデ ザイン 構造工学セミナー 学外実習および見学	構造デザイン 建築・アーバンデザイン 機械デザイン 創成プロジェクト	

主として
養われる
資質